

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000065"/> 整理番号 <input type="text" value="11676"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="サフラン由来化合物による新規ALS治療薬"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="機能性食品"/>
適用製品	<input type="text" value="筋萎縮性側索硬化症患者の発症予防・治療薬"/>
目 的	<input type="text" value="難病で治療薬がリルゾールに限られている運動神経疾患・筋萎縮性側索硬化症(ALS)は成年～初老期に発症し、進行性で予後が非常に極度に悪く、社会的損失も多大である。"/> <input type="text" value="化合物crocetinの配糖体類は日本薬局方サフランから単離されたALSの治療薬候補であり、動物実験的に有効であるため治療薬開発候補とする。"/>
技術概要	<input type="text" value="製造例: 乾燥サフラン(群馬産)の75%エタノールエキスの酢酸エチル非抽出画分より、n-ブタノールで抽出される画分を得た。これをODS-カラムクロマトフィにより水/メタノール系で約60%メタノール溶出画分を分取した。TLC、HPLC(ODS)、質量分析、NMRにより87%の純度でall-trans-crocetin-β-D-gentiobiosyl-β-D-glucosyl esterと同定した。"/> <input type="text" value="薬理作用: 液-液分配画分、精製標品についてヒトSOD1-G93A遺伝子を発現させたN2a細胞の細胞死の回避能、ならびに同遺伝子トランスジェニック・モデルマウスに発病前(9週齢)から経口投与し、Rota-rod法による協調運動の低下と死亡時期を測定した。ブタノール画分(細胞のみ)、精製品共に細胞レベルの運動神経細胞死回避作用があり、モデルマウスにおいて生存日数の延長と運動能力低下の遅延作用が見られた。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp